

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)

【公開番号】特開 2001-18586 (P2001-18586A)

【公開日】平成 13 年 1 月 23 日 (2001.1.23)

【出願番号】特願 平 11-190627

【国際特許分類】

B 4 3 L 19/00 (2006.01)

B 4 3 M 11/06 (2006.01)

B 6 5 H 35/07 (2006.01)

【F I】

B 4 3 L 19/00 H

B 4 3 M 11/06

B 6 5 H 35/07 D

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 25 日 (2006.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来の転写具は、上記したように転写媒体を貼着した帯状フィルムを送り出し、巻き取るために、ギヤ、並びにこれらのギヤを連動させる連動ギヤが設けられていたので、その分、これらを収納する筐体が厚み方向にもまた送出リール及び巻取リールの軸方向にも大きくなり、筆記具と共に例えば筆箱などに収納することができないといった不具合があった。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

すなわち、本発明は、送出軸部と巻取軸部とにベルトをクロス状に架けて回転力を送出軸部の回転に対して巻取軸部の回転を逆転させて伝達しているので、従来のギヤ、及びこれらギヤ間に設けた連動ギヤを必要としない。そして、転写媒体を貼着した帯状フィルムを従来のように送出リールに巻装せずに送出軸部自体に巻装し、転写ローラを通過後の帯状フィルムは、巻取軸部自体に巻き取るようにしている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

このように、転写具 1 は、送出軸 3 と巻取軸 4 とにクロス状に架けられたベルト 6 で回転力を伝達しているので、従来構成に存在したギヤ、さらにはこれらギヤ間に設けた連動ギヤを省略必要としないので、筐体 2 をその厚み方向及び送出軸 3 や巻取軸 4 の軸方向に

小型化することができ、筆記具と共に筆箱などに収納することができる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２７】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の転写具は、筐体内に枢支され、転写媒体を貼着した帯状フィルムを巻装した送出軸部と、送出軸部から転写媒体を貼着した帯状フィルムを送り出して被転写体に対して転写媒体を転写すると共に該帯状フィルムを該筐体内に送る転写ローラと、この転写ローラを通過した帯状フィルムを巻き取る巻取軸部とを備え、送出軸部と巻取軸部とにベルトをクロス状に架けたので、従来のギヤ、及びこれらギヤ間に設けた連動ギヤを省略して筐体を小さくして筆記具と共に筆箱などに収納することができ、また筐体を小さくしたにも拘わらず転写媒体の容量を減少させることがなく、また、使い勝手も損なうことがなく、さらに製作コストを削減することができる。